

龍ヶ崎市(りゅうがさきし)

龍ヶ崎市(りゅうがさきし)					法人番号	2000020082082
	〒 301-8611			地域指定	一部事務組合加入事業	
	〈住所〉 龍ヶ崎市3710番地			近郊整備	退職手当 消防費じゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 水道 下水道使用料徴収 ごみ し尿 消防 共同研修 水防	
	〈TEL〉 0297-64-1111 〈FAX〉 0297-60-1583					
	〈HP〉 http://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/					
	〈e-mail〉 hisyo@city.ryugasaki.lg.jp					
類型	Ⅱ-3	地方公共団体コード	082082	面積	78.59 km ²	

<行政組織>

①長等(令和7年5月1日現在)

長	はぎわら いさむ 萩原 勇 (49歳)	任期	令和8年1月17日
		就任回数	1期目
副市長	木村 博貴		

②議会(令和7年5月1日現在)

議長	油原 信義	副議長	後藤 敦志
任期	令和9年4月30日	条例定数	22人
現議員数	22人	党派別	自民1人、公明4人、共産2人、無所属15人

③職員数(令和6年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係		公営事業会計関係
		ラスパイレ	ス指数	
431	396	97.9	地域手当補正後ラス指数	97.9
一般行政職の平均給料月額	3,289 百円	令和3年4月1日	令和4年4月1日	令和5年4月1日
全職員数の推移	435	431	428	

④機構図(令和7年4月1日現在)

<市長>-<副市長>	
総合政策部	秘書広聴課、企画課、デジタル都市推進課、まちの魅力創造課
総務部	防災安全課、人事行政課、財政課、税務課、納税課、管財課
福祉部	福祉総務課、こども家庭センター、保育課、障がい福祉課、保護課
健康スポーツ部	健康増進課、医療対策課、介護保険課、保険年金課、スポーツ推進課
市民経済部	市民窓口課、地域づくり推進課、商工観光課、農業政策課
都市整備部	生活環境課、都市計画課、道路公園課、下水道課
会計管理者	会計課
<教育委員会>-<教育長>	
事務局	教育総務課、文化・生涯学習課、指導課
教育機関	教育センター、学校給食センター
市議会事務局 選挙管理委員会事務局(総務部人事行政課兼務) 監査委員事務局 公平委員会事務局(監査委員事務局兼務) 農業委員会事務局 固定資産評価審査委員会事務局(総務部人事行政課兼務)	

<概要>

①沿革

昭和29年3月20日	市制施行
昭和30年2月21日	編入
高須村の一部	

②地勢・風土等

龍ヶ崎市は、「水と緑」の豊かな自然環境に恵まれた、首都45km圏内に位置する茨城県南部の都市である。「スポーツ健康都市」を宣言している当市では、総合運動公園が整備されたこともあいまって、スポーツへの取組がより活発となっている。特に流通経済大学とは、スポーツをはじめとした行政との連携、市民との交流が盛んに行われている。

③人口・世帯数

区分		国勢調査			常住人口 (令和7年4月1日)
		平成22年	平成27年	令和2年	
人口	男	40,247	38,959	37,995	36,896
	女	40,087	39,383	38,425	37,545
	合計	80,334	78,342	76,420	74,441
世帯数		30,092	30,472	32,158	33,923

④有権者数(令和7年3月3日現在)

有権者数	男	女	計	老齢人口割合 31.4%
	31,083	31,757	62,840	

<産業・経済>

①生産・所得(令和4年度)

市町村内総生産	3,047 億円	住民所得	2,312 億円
		人口1人当り住民所得	3,058 千円

②産業構造

区分	総生産額(令和4年度)		就業人口(令和2年国調)	
第1次	1,975	0.6%	812	2.5%
第2次	139,819	45.9%	9,212	27.8%
第3次	159,780	52.4%	23,089	69.7%
総額・総数	304,696	—	33,113	—

③農業・工業・商業

農業 (令和2年2月1日)	農家数	主業農家数	農業就業人口
	723	70	1,051
製造業 (令和5年6月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (R4.1.1~12.31)
	119	7,739	340,521
卸・小売業 (令和4年6月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (R3.1.1~12.31)
	489	4,637	108,681

④特産物

龍ヶ崎トマト、コシヒカリ、コギク、龍ヶ崎コロッケ、クリスタルガラス

<財政状況>

①決算収支 (千円・%)

区分	令和4年度決算	令和5年度決算	増減率
歳入	31,224,289	31,043,983	△ 0.6
歳出	29,252,004	29,637,205	1.3
形式収支	1,972,285	1,406,778	－
実質収支	1,784,471	1,276,809	－
単年度収支	△ 843,562	△ 507,662	－
実質単年度収支	△ 643,136	△ 507,455	－

②主な歳入・歳出(令和5年度) (百万円・%)

区 分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	31,044	－	△ 180	△ 0.6
地方税	10,334	33.3	137	1.3
地方交付税	4,509	14.5	283	6.7
国庫支出金	6,004	19.3	△ 375	△ 5.9
地方債	2,188	7.0	570	35.2
うち臨財債	171	0.6	△ 200	△ 53.9
その他	8,009	25.9	△ 795	△ 9.0
うち繰入金	311	1.0	185	146.8
歳出	29,637	－	385	1.3
義務的経費	14,784	49.9	709	5.0
人件費	4,268	14.4	114	2.7
扶助費	8,179	27.6	625	8.3
公債費	2,337	7.9	△ 30	△ 1.3
投資的経費	3,508	11.8	1,002	40.0
普通建設事業費	3,502	11.8	996	39.7
うち補助	847	2.9	△ 160	△ 15.9
うち単独	2,599	8.8	1,138	77.9
その他の経費	11,345	38.3	△ 1,326	△ 10.5
うち繰出金	2,376	8.0	115	5.1

③主要指標(令和5年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	－ % (12.70)
連結実質赤字比率	－ % (17.70)
実質公債費比率	4.3 % (25.0) [6.6]
将来負担比率	－ % (350.0) [23.3]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和6年度)	0.714	[0.670]
経常収支比率	92.9 %	[92.6]
標準財政規模(令和6年度)	16,437 百万円	[16,772]
地方債現在高(A)	21,898 百万円	[25,447]
債務負担行為支出予定額(B)	5,517 百万円	[4,978]
積立金現在高(C)	6,710 百万円	[7,929]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	20,705 百万円	[22,496]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和5年度) (千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	4,291,430 (40.9)	4,253,997 (41.2)	99.1 [97.2]
市町村民税・法人 (構成比)	672,123 (6.4)	662,708 (6.4)	98.6 [98.6]
固定資産税 (構成比)	4,151,521 (39.6)	4,066,833 (39.4)	98.0 [97.3]
市町村税合計 (国保除く)	10,488,096	10,334,451	98.5 [97.4]

<公共施設整備状況>(令和5年度) ※1は令和6年度

小学校 ※1	11 校	体育館	3 か所
中学校 ※1	6 校	プール	2 か所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	4 園	老人福祉施設	45 か所
保育所 ※1	8 か所	病院・一般診療所	47 か所
認定こども園 ※1	6 園	道路改良率	58.9 %
図書館	2 か所	道路舗装率	79.9 %
公営住宅	168 戸	上水道等普及率	80.7 %
公民館等	1 か所	污水处理普及率	94.8 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況 (百万円)

名 称	期間	内 容	概 算 事業費
中学校3年生給食費無償化事業	R7 ～	中学校3年生の給食費を無償化することにより、保護者の経済的負担を軽減し、新生活に必要な物品等の準備を整えられるよう後押しする。	30 (R7)
北竜台学園施設整備事業	R3 ～	「小中一貫教育」を推進するため、適正な学級数が確保できるよう小学校の統合と併せ、施設一体型小中一貫校の施設整備を行う。	2,593 (R7)
スポーツライミ ングのまち龍ヶ 崎推進事業	R6 ～	「スポーツライミ ング」を活用したまちづ くりに取り組み、多様な分野とも運動して いくことにより、若者世代の定住促進など につなげる。	40 (R7)
避難所衛生環境 改善事業	R6 ～	避難者が衛生的な環境で、できるだけ普段 と変わらない日常を送り、心身の負担を軽減 できるよう、トイレトラック等を配備する。	82 (R7)
地域ブランディ ング推進事業	R7 ～	「龍」を地域ブランディングの中心に置 き、新たに構築するブランドシンボル を有効活用しながら、長期的・統一的 なプロモーションを展開する。	5 (R7)

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題> ・人口減少、少子高齢化への対応 ・移住、定住促進 ・地域資源(牛久沼周辺、大規模公園)の利活用 ・空家対策、空家の利活用 ・公共施設再編成への取組 ・事務事業の見直し ・DXの推進
<特色ある行政> ・「スポーツライミ ングのまち龍ヶ崎」の推進 ・龍・流連携事業(流通経済大学との連携) ・ICT教育及びSTEAM教育の推進 ・龍ヶ崎ファンクラブの運営 ・市内高等学校との包括連携協定に基づく取組 ・SDGsパートナーシップ制度の運用